

“脳が喜ぶ”新感覚カフェ『バーチャル喫茶』

非日常、健康ニーズを掴む没入型VRカフェ

小資本×無人運営で開業可能な大人の秘密基地VR喫茶。

**脳を刺激する新業態！
大人の秘密基地VR喫茶**

高齢化社会の進行に伴い、「脳の健康」と「非日常体験」への関心が高まっている。そうした



「バーチャル喫茶」のイメージ。実機体験など、ショールーム見学も受付中。

時代背景のもと注目を集めているのが、脳が喜ぶ新感覚カフェ『バーチャル喫茶』だ。

このカフェでは、最先端のVR技術を活用し、椅子に座ったままスポーツや旅行を体験できる。ゴーグルを装着すれば、ゴルフや野球、バスケットボール、クレール射撃といった臨場感あふれる仮想体験や、世界の観光地を巡るツアーが広がる。操作はボタンひとつで完結。直感的に楽しめるため、若年層から高齢者まで誰もが簡単に没入できるのが特徴だ。

カリフォルニア大学の研究では、VR体験が認知機能の活性化に有効とされており、リラクゼーションと脳トレを兼ね備えた次世代型のカフェ空間として期待されている。

この「秘密基地」のような没入空間を開発したのは、シミュレーションゴルフ分野で数々の世界初を手がけてきた(株)スリーディ。長年にわたり培った技術が、健康・癒し・エンタメを融合させた唯一無二の事業モデルを実現した。

『バーチャル喫茶』はわずか10坪から開業可能で、無人で24時間営業にも対応。人的コストを大幅に抑えながら安定収益を狙えるビジネスとなっている。「遊休物件を活用したい」「高齢者・健康志向市場に参入したい」「癒し×テクノロジーの新業態を模索中」「小資本・低リスクで新規事

無人運営で導入可能 小資本&高収益モデル

業に挑戦したい」といった企業に最適なモデルだ。さらに現在は開業支援キャンペーンを実施中。通常の半額で導入できる点も見逃せない。



「バーチャル喫茶」のイメージガール。事業の訴求力も抜群。

・5台セット…380万円(通常760万円)
 ・10台セット…600万円(通常1200万円)※機器代や工事費、販促チラシ代など開店までの主な費用含む。家賃等は別途必要。
 導入を検討したいホール企業は、東京・大森のショールームで実機体験が可能。操作性や映像クオリティを確認しながら、店舗導入のイメージを具体化できる。

経営支援特集 新規ビジネス参入で未来を切り拓く